

# 総括質疑



本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」として行います。今定例会では、12人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介いたします。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ



誰もが住みやすい  
平塚をめざして

坂間 正昭 議員

### コロナ感染症 対策と支援

**問** 国の交付金などを活用して取り組む3つの事業の特徴と内容を伺う。

**市長** 本年5月臨時会及び今議会でも、物価高騰対策予算を迅速に計上した。生活困窮世帯への給付や小学校・保育所の給食材料費など幅広く実施し、令和4年度当初予算などに計上した事業に加え今後の補正予算も活用し切れ目なく物価高騰対策に取り組み、きめ細かく施策を展開する。

**問** 子育て世代の生活支援特別給付金は、同じ学年でも5年3月1日から4月1日生まれば対象外となる。

**市長** 10万円定額給付金と同様に、本市独自の給付の検討はしないのか。

**市長** 担当課に対象にするよう指示を出し、準備を進めている。

**問** 交付金がまだ2億円残っていると思うが今後の支援は検討しているのか。

**企画政策部長** 具体的な内容は今後の補正予算で検討するが、国や県の対策を補完できるような対策を行っていききたい。

### 湘南海岸公園 龍城ヶ丘ゾーン 整備・管理運営事業

**問** なぜ見直しに1年9か月もの期間がかかるのか。

**市長** 当初プランのコンセプトなどを継承しつつ施設配置の見直しを行うことから設計変更の必要があり、関係機関との協議を改めて行うとの申し出が事業者からあった。精査の結果妥当な期間と判断した。

**問** 各管理者からはどのような指摘があったのか。

**市長** 交通管理者からは交通の安全性、円滑性に配慮した計画とすること、道路管理者からは国道134号は走行速度が速く交通量も多いため、西側駐車場の切下げ形状の出入口は出口と本線の出会い頭事故、既存歩道橋の橋脚や影による出

入口の視認性の低下など安全性に懸念があるとの意見があった。

**問** 長年協議を行ってきた国道134号への車両出入口で安全性を確保するために駐車場を集約し、出入口を1か所にするなどで全体の見直しが必要になったことが延期の理由なのか。

**都市整備部長** 交通管理者などで行ってきた協議の中で施設配置の見直しが必要となった。

### 魅力あるまちづくり

**問** 平成26年8月に居住や防災機能の誘導、防疫・減災を計画的に進める「立地適正化計画制度」が創設された。計画策定の主体的な取り組みと市街化調整区域の連動の考え方を伺う。

**まちづくり政策部長** 災害リスクなど地域特性に応じた居住誘導や都市機能の誘導・集積など、立地適正化に向けて目指すべき都市の骨格構造を検討するものである。既存の生活圏を考慮し、居住誘導するための区域などの必要な都市施設を検討する。対象区域は都市計画区域全域としており本

市では市街化調整区域も含め計画の対象区域となる。

### 神奈川大学の移転

**問** 令和5年を目途に計画の策定を進めるとしている。目途まであと1年だが新たな情報について伺う。

**企画政策部長** 跡地利用を模索していると聞いているが正式な決定事項ではないため、具体的に示されていない。引き続き機会を捉えて

### 認定こども園の開設

**問** 開設整備基本方針(案)の内容を伺う。

**健康・こども部長** 民間事業者が旧吉沢公民館敷地に幼保連携型認定こども園の整備を生かした園を整備し、令和7年4月から土屋幼稚園と吉沢保育園の教育・保育内容の継承を基本に運営を行う計画である。



夢ある未来平塚を創る  
中心市街地と未来の子供たち

片倉 章博 議員

### 中心市街地の活性化

**問** 平塚駅周辺地区将来構想の内容と効果を伺う。

**副市長** 本市の顔である平塚駅周辺地区の将来のあるべき姿を駅周辺地区の現状や課題を踏まえて、おおむね20年後の将来像と、その実現に向けた方策を検討し、令和4年度から6年度までの3か年で、「賑わい創出や活性化につながる土地利用の誘導」、「長期的な視点に立った都市基盤の整備、改修」、「公共空間の活用方法やエリアマネジメントの仕組みづくり」などの視点から検討して将来構想を策定していく。駅周辺地

区の将来の姿を明確に示すことで、市と民間事業者が駅周辺地区の将来の姿を共有し、官民連携による再開発の誘導にもつながると考えている。

**問** 平塚駅周辺地区アクシオンプランによる支援策の内容を伺う。

**副市長** 駅周辺地区将来構想で明確となった街の将来像を実現するために、地権者などのさまざまなニーズに対応できるように支援策を取りまとめるもので、6年度に策定する予定である。プラン作成前でも、運用可能な支援策は早期に実施をしていきたい。支援策の内容は、将来構想の分析や地

### 認定こども園の開設

**問** 駅周辺地区将来構想とアクシオンプランは並行して策定するのか。

**都市整備部長** 将来構想と合わせてアクシオンプランも6年度に策定を予定しているが、現在、駅周辺地区が急速に変化している状況のため、他市の事例などを参考にし、また、コンサルティンク会社の知見を生かし、実施できる施策があれば、可能な限り早めの運用を図っていききたい。

### ひらつか子育て 応援プラン

**問** ひらつか子育て応援プランの進捗状況とコロナ禍での状況を伺う。

**健康・こども部長** 令和3年度は大方の事業で取り組みが進み、コロナ禍においても感染症対策を行いながら工夫して実施している。

**問** 4年度は見直し年だが見えてきた課題を伺う。

**健康・こども部長** ICTを活用したオンライン相談や、新型コロナウイルス感染症と共存しながらの事業実施、ヤングケアラーの支援のほか、多様化する子育てニーズへの対応などが課題である教育・保育の量の見込みや提供体制の確保を含め、中間見直しを行う方向で検討していく。

**問** 今年度の待機児童解消に向けた取り組みを伺う。

**健康・こども部長** 賃貸物件改修方式による駅周辺の認可保育所の整備や小規模保育事業所の整備のほか、既存幼稚園の認定こども園化と既存保育園の増設により、5年4月の保育所などの定員を、前年同月比で128人増やし、保育所等保育士就職促進交付金、保育士就労支援交付金、民間保育士奨学金返済支援補助金の3つの柱を中心とした保育士確保支援策を引き続き実施していく。

**問** こども食堂と学習支援の開催地区と件数を伺う。

**健康・こども部長** こども食堂は、崇善地区を含む8地区で11か所である。学習支援は市内5地区で6か所のほか、町内福祉村でも7地区で開催されている。

**問** 5年4月にこども家庭庁が発足し、子供への対策などが加速的に進められる。市長の見解を伺う。

**市長** こども食堂やヤングケアラーへの対応など、子供が直面している危機に対して本市として行えることはしっかりと検討をして取り組みたい。

## 可決した 意見書

議員からの提出議案として、本会議の最終日に次の意見書が提出され全会一致で可決しました。可決した意見書は国や関係行政庁に提出します。ホームページには全文を掲載しています。

### 子どもたちにゆたかな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書(抜粋)

これからの未来を担う子どもたちへのきめ細やかな指導と心の安定に資するためにも、教科担任制の配置増などの教職員定数改善が不可欠です。また、その実現にあたっては、必要な財源を国が保障することによって、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが必要です。

よって、次の事項について配慮される

- よう、強く要望いたします。
- 1 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、30人学級の実現に向けて検討すること。
  - 2 専門性の高い教科指導を行い教育の質の向上をはかるとともに、複数の教員による多面的な児童理解を通じた子どもたちの心の安定に資するため、教科担任制の配置増など教職員定数改善を推進すること。
  - 3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。